

農業技術 プリズム

までの日数が短く、満開から収穫盛期までの果実の生育期間が約10日長く、収穫盛期は約5日早くなりました。また、硬核期の開始は「日川白鳳」より約10日遅く、期間は同程度となっています。

近年、温暖化の影響で休眠覚醒のために必要な冬季の低温が確保しにくい年が見られ、ハウス桃栽培ではハウスピニールの被覆や保温開始時期の判断に苦慮しています。そのような中、農研機構育成の桃「さくひめ」は低温要求量が少なく、温暖化対応品種として普及が期待されています。

そこで「さくひめ」のハウス栽培における生育日数や硬核時期などの生育特性を明らかにしました。

「日川白鳳」と同時期に保温を開始した「さくひめ」は、保温開始から満開までの日数は約30日、硬核期は満開後約55〜70日、満開から収穫盛期までの日数は約90日でした。「日川白鳳」と比較して開花が早く保温開始から満開

桃「さくひめ」生育特性

低温要求量が少なく 温暖化への対応期待

これらの生育特性を基に管理時期や作型を検討できますが、保温開始時期や管理温度、外気温により日数が変わりますので目安としてください。

(長崎県農林技術開発セン

桃「さくひめ」と「日川白鳳」の生育特性

| | 保温開始 | 満開期 | 硬核開始期 | 収穫盛期 |
|------|-----------------|-------|-------------|------|
| さくひめ | 保温後日数 25~30日 | 満開後日数 | 55日 硬核期 70日 | 90日 |
| 日川白鳳 | 保温後日数 35~45日 | 満開後日数 | 45日 硬核期 60日 | 80日 |

日川白鳳と比較: 10日早い (保温開始) / 10日遅い (硬核開始期) / 5日早い (収穫盛期)

調査年 加温: 2018・2019年 無加温: 2017・2018・2019年
 耕種概要 保温開始時の低音遭遇 加温: DVI値1.0(7.2℃以下 704時間) 無加温: DVI値1.1(7.2℃以下 902時間)

ター 果樹・茶研究部門
 ワ・落葉果樹研究室 主任研
 究員 松本紀子